

福岡県とハワイ州は 姉妹提携35周年を迎えました

1月17日から24日まで8日間の日程で、中尾正幸議長を団長とする福岡県議会ハワイ州議会友好訪問団が小川洋知事及び市町村、経済界等の方々とともに、米国ハワイ州を訪問しました。

今回の訪問は、昭和56年9月の福岡県とハワイ州の姉妹提携締結及び昭和57年1月の本県議会とハワイ州議会の国際友好親善促進の盟約締結から35周年を迎え、改めて交流の機運醸成を図る節目とするため記念事業を行うとともに併せてハワイの県人会周年記念式典などに参加するため訪問したものです。



ハワイ州議会の上院及び下院の開会式では、友好訪問団が来賓として紹介され、長年にわたる両県州の友好交流に議場から温かい拍手が送られました。

県議会主催の「感謝の集い」で来賓のジョージ・アリヨシ元州知事は「大切なのは日本とアメリカが友好関係にあること。それはトップの話ではなく、このような個人個人のつながりが最も大切である」と述べられました。

姉妹提携35周年記念式典では、中尾議長とハワイ州議会の上院・下院両議長が、県議会と州議会



の国際友好親善促進の盟約を確認する署名を行い、今後の両県州のさらなる交流の深化を確認しました。また、交流推進の功労者として、大牟田大蛇山を世界に発信する会、県立水産高校、県議3名(田中久也議員、藏内勇夫議員、原口剣生議員)が表彰されました。

この他、県人会の記念式典にも参加し、これまで友好交流の懸け橋として活躍してこられた方々に感謝の気持ちを伝えるとともに、県人会の皆さんとの交流を深めるなど、友好交流の促進に向けた有意義な訪問となりました。

**ふくおか
県議会だより**

第21号

福岡県議会ホームページ▶
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp>

携帯電話向けサイト▶
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/m>

カウアイ福岡県人会
カウアイ島
ニイハウ島

オアフ島
ホノルル

モロカイ島
ラナイ島
マウイ島
カホオラウエ島

ハワイ福岡県人会

ハワイ島福岡県人会(ヒロ)

コナ
コナ福岡県人会

ハワイ島

ハワイ移民から始まった友好交流

1885年にハワイ王朝と明治政府との間で締結された労働条約による官約移民が始まり、この年、福岡県人最初の移民149人が渡航しました。

1894年までの官約移民約29,000人のうち福岡県人は全体の約7.5%、2,100人余であり、1894年以降も多くの方々がハワイへ移住しました。

移住した方々は、異なる環境の中で、幾多の困難を乗り越え、日系アメリカ人としてハワイ社会の発展に貢献してきました。

その後、福岡県を故郷に持つ方々やその子孫で福岡県人会が組織され、長年にわたり本県とハワイの懸け橋として非常に大きな役割を果たしてこられました。

そうした中で、昭和55年9月、アロハウィークフェスティバルへの博多祇園山笠参加や福岡物産展の開催により、両県州の友好促進の機運が盛り上がり、翌年の姉妹提携締結へ大きく動き出すこととなりました。

平成二十八年十二月

定例会の概要

12月定例会は、12月1日に召集され、20日まで20日間の会期で審議が行われました。

今定例会には、安全安心・防災対応の強化、地方創生の推進、子育て支援・福祉の充実に取り組むための「平成28年度福岡県一般会計補正予算」など予算議案2件、旅券の発給申請の受理や交付の事務の移譲や所要の規定の整備をするための「福岡県事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例」など条例議案15件、専決処分したも

のについて報告し承認を求める議案1件、工事請負契約の締結に関する議案9件、その他の議案7件、計34件の議案が提出されました。

審議に当たっては、知事の政治姿勢、防災対策、福祉問題、農林水産問題、教育問題、新県立美術館構想など県政全般にわたり活発な議論が交わされました。

審議の結果、提出された議案34件については、いずれも原案のとおり可決、承認されました。また、9月定例会において決算特別委員会に付託され、閉会中に審査された平成27年度決算関係議案20件についても認定、または原案可決及び認定されました。(決算特別委員会の審査内容については、6面に掲載していますので併せてご覧ください。)